

# 令和元年夏休み裁判所見学ツアー！！ 実施報告

【岐阜裁判所通信】

令和元年8月6日（火）岐阜地方裁判所では、小学校5、6年生を対象に「令和元年夏休み裁判所見学ツアー！！」を開催し、午前の部20名、午後の部21名の皆さんにご参加いただきました。

今回の裁判所見学ツアーは、「裁判はどんなふうに行われているの？検察官ってどんな仕事？弁護士はどうやったらなれるの？」といった疑問を、もぎ裁判等を体験したり、裁判官、検察官、弁護士に直接聞いたりして、参加小学生の子供たちに、少しでも分かっていただくために行いました。

それでは、さっそく見学ツアーの様子を見ていきましょう！！



## ① 「裁判ってどんなもの？」～見て聞いて考えてみよう～



←まずは、裁判官等からのご挨拶。  
「みなさん、ようこそ！  
今日はいっしょに司法について  
学びましょう！！」

最初に、もぎ裁判を行いました。「もぎ裁判」では、参加者の中から裁判官役、検察官役、弁護人役、証人役及び裁判員役を選び、放火事件を題材に裁判を行いました（被告人役は裁判官が務めました。）。

いよいよ「もぎ裁判」が始まります。  
みんなドキドキですね。



それでは本番スタート！！



(裁判官役)

(裁判官)

それでは、開廷します。

(検察官)

被告人は建物に放火しました。



(検察官役)



(被告人役)

(被告人)

私は火をつけていません。  
信じてください！

(弁護士)

被告人の言うとおりに、火をつ  
けていません。  
むしろ、火を消していたので  
す。よって、無罪です。



(弁護士役)



(裁判員役)

(裁判員)

証人の方に聞きたいことが  
あります。

以上、掲載したのはほんの一場面ですが、白熱したやりとりは本番さながらでした。  
そして、もぎ裁判は進み……。



裁判長  
(裁判官役)

(裁判官)

以上で、審理を終わります。

有罪，無罪，どちらだろう？



(評議中)

評議とは・・・

裁判官と裁判員と一緒に話し合い，有罪・無罪や刑の内容を決めるものです。



普段聞かない裁判用語や長いセリフを，緊張している中みなさん上手に話せていましたね。

その後，参加者全員が4人ほどのグループに分かれて，「有罪」か「無罪」かを話し合い，グループごとに発表しました。



(評議中)



被告人は無罪！！



被告人は有罪！！

みなさんが一生懸命考えた結果，グループごとに有罪・無罪の判断が分かれ，また，理由もどれも「確かに！」と納得できる内容でした。

もぎ裁判後、参加者から裁判官、検察官及び弁護士への質問が行われました。「有罪と無罪の割合はどれくらいですか？」や「裁判が終わるまでに要する期間はどれくらいかかりますか。」などの質問から、なかには「異議あり」と発言することはありますか？」や「ドラマのように弁護士や検察官は発言の際に法廷の中を動き回るのですか？」といった質問もでました。

(質問タイムの様子)



みなさん、裁判や裁判に関わる仕事に興味を持っていただけただけでしょうか？

## ② 「法廷の中ってどうなっているの？」

～裁判の登場人物の目線に立ってみよう～

最後に、普段は入ることが出来ない裁判官席や検察官席、弁護士席などに座りました。



←法廷のなかを探検中・・・。

法服も着て、気分は裁判官！！→



半日にわたる見学ツアー、お疲れ様でした。みなさん楽しく、かつ真剣に取り組んで裁判について学んでくれたと思います。

裁判所では、今後もこのような見学ツアーなどを行い、司法をより身近に感じていただきたいと思います。是非、ご参加ください！！

ツアーに参加していただいたみなさん、  
本当にありがとうございました！！

